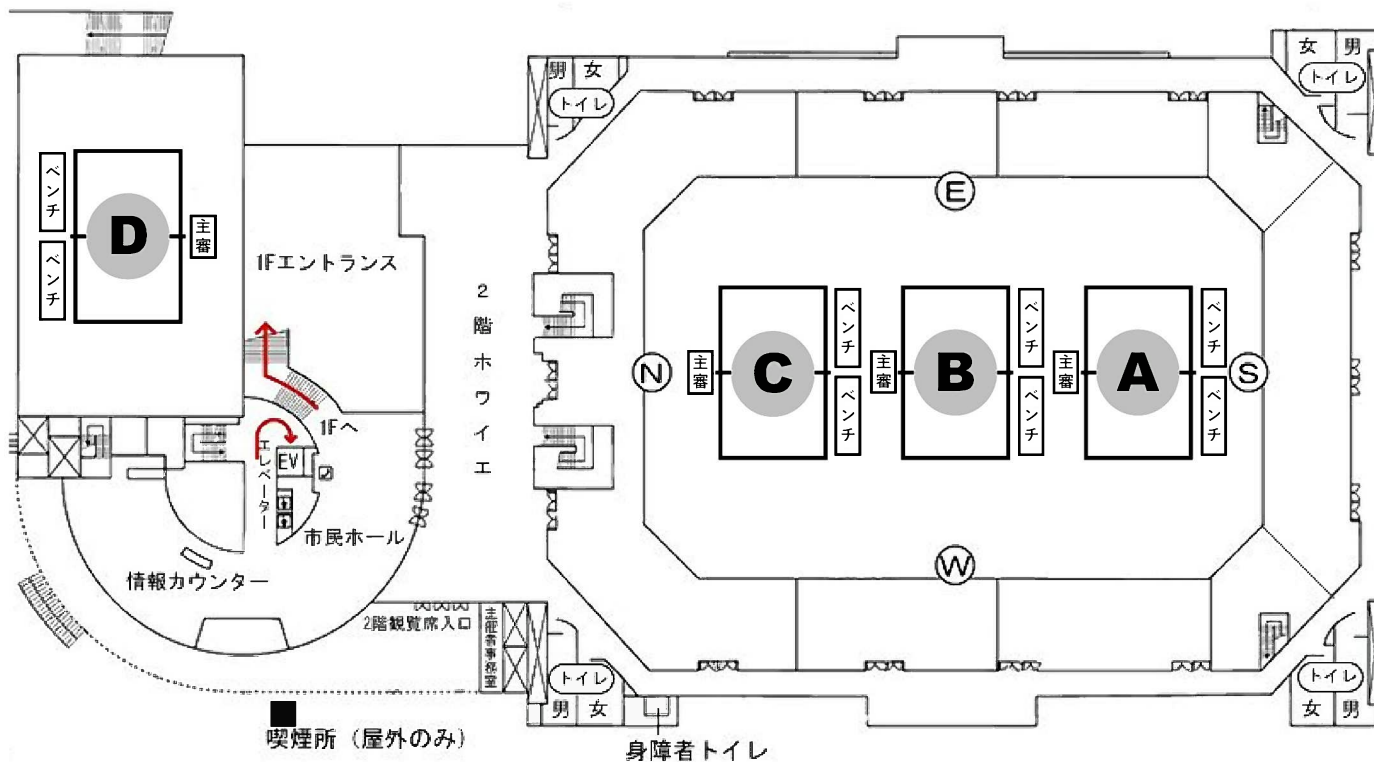


■競技上の確認事項

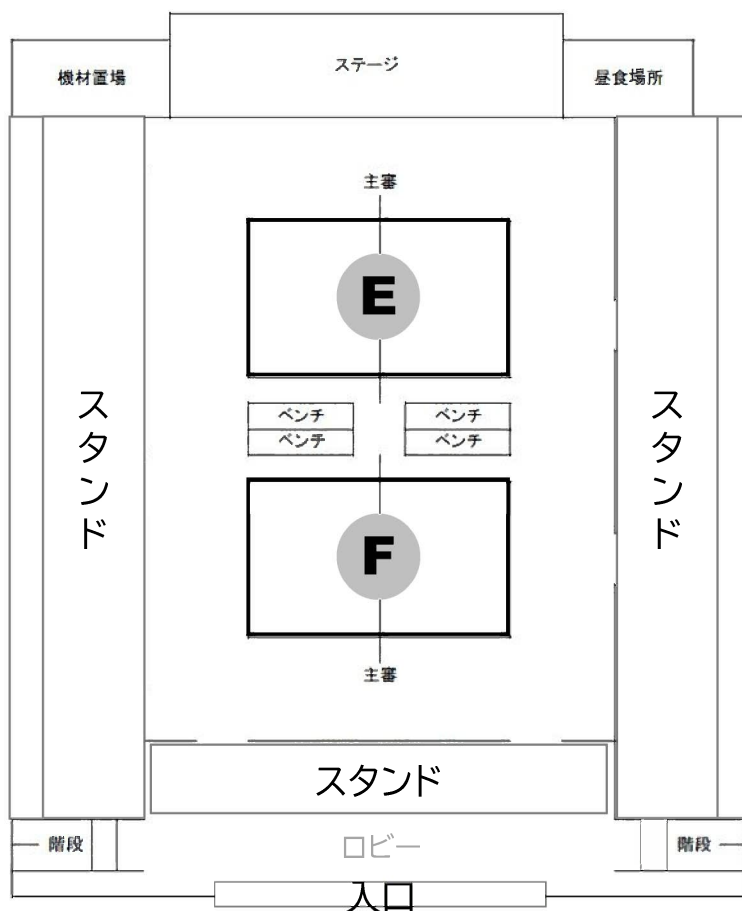
- 1 本大会は、2022 年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規定にある小学生バレーボール競技規定を採用する。
 - 2 競技方法は、男子 16 チーム、女子 32 チーム、混合 16 チームが 8 チームトーナメント戦を行う。
各トーナメントとも、1 回戦で敗戦したチームは敗者戦を行う。
 - 3 大会使用球は、男子・混合 ミカサ、女子 モルテン とする。
 - 4 試合は、すべて 3 セットマッチ、追込み制で行う。
セット間のコートチェンジは行わない。組合せトーナメント上段チームが A サイド(主審右手側)とする。
次の試合が連続する場合は、最大 15 分間、空ける。前の試合が終わっても、消毒やコート点検が終わり、大会役員の指示があるまでは、コートを使っての練習はできない。
 - 5 チーム編成は、監督・コーチ・マネージャー各 1 名と選手 14 名以内とする。ベンチは、登録されたもののみ着席を認める。
 - 6 ベンチスタッフ及び選手エントリー変更届、並びにプログラム記載事項の誤りは 11 月 19 日(土)、20 日(日)のチーム受付の際に提出する。
 - 7 監督・コーチ・マネージャー章は必ず左胸につけること。
なお、ベンチスタッフの内一人以上の者が、公益財団法人日本スポーツ協会が認定するバレーボールの「コーチ 1、コーチ 2、コーチ 3、コーチ 4」の有資格者とする。資格証は試合時に胸に下げていなければならない。
 - 8 ベンチスタッフの服装も統一されたものを着用する。ただし、小学生がベンチスタッフに入る場合は、他のスタッフの服装と異なってもよい。
 - 9 競技に必要な飲料水をベンチに持ち込む場合は、スクイズボトル等の口を直接つけるタイプの水筒を使用すること。
ペットボトルの持ち込みは不可とする。救急用品、タオル以外の品物は持ち込まない。
試合中の給水ボトル等は共有せず、所定の位置に間隔を空けて置く。
 - 10 試合前の円陣やベンチでの集合時、出来るだけ密集・接触を避ける。
 - 11 競技中に靴底を触ったりしない。また、ハイタッチやネット際での相手に向かった発声は控える。
 - 12 試合間に支柱やネット、得点版等の消毒作業をするので、セット間の時間が延長されることもある。
 - 13 チームスタッフはマスクを着用する。
控えの選手は、ウォームアップエリアで密を避け、マスクを着用する。
 - 14 横断幕(一枚:天地 70cm×幅 5m まで)は、試合をしているチームのみ掲示を認める。
のぼりは観客の邪魔にならないように観客席最後列に掲げる。ただし、ガムテープなどの粘着テープ等は使用できない。(チーム 5 本までとする)
 - 15 応援は観客席から行い拍手のみとする。
また、密を避けるために、観客席も間隔を空けて座り、必ずマスクを着用する。
＜応援等で禁止する行為＞
 - ・声を出しての応援、メガホンの利用
 - ・マスクを外した応援(指笛など)
 - ・人と接触する応援(ハイタッチ・肩組みなど)
 - ・大旗を振る
 - ・応援マフラータオルを振り回す
 - ・スティックバルーンの使用(息で膨らませるため)＜応援等で容認する行為＞
 - ・拍手や手拍子
 - ・応援マフラータオルや応援うちわを自席で掲げる
 - 16 施設の通路及び空きスペースへのシート利用は禁止。また、施設の電源の使用は禁止する。
 - 17 喫煙は、体育館指定の場所を利用すること。
- ※ 上記事項に対して、すべて大会役員の指示に従うこと。

◇アリーナ平面図

千葉ポートアリーナ



千葉公園体育館



J F E 体育館

